

岡垣町国際交流協会主催

第15回国際交流フェスティバル

—私も参加してきました—

6月7日に岡垣サンリーアイで行われた国際交流フェスティバルでは、さまざまな国の音楽家が豪華な演奏を披露されました。その中で特に印象的だったのが、ネパールのシタールと韓国^{カヤラム}の伽耶琴、中国の笛が共演したことです。(写真右上)

韓国の伽耶琴は日本や中国^{こと}の箏と違い、生の指で弾く楽器です。ハーブに似たような美しい音でした。そのほか、岡垣町の「千代の会」のミニ箏の演奏や中国^{カフダイキン}の郭大錦さんの古箏の演奏もあり、3カ国の箏の音を聴き比べることができました。演奏以外にも、ギャラリーでシルクロード伝来古代楽器が展示されていて、モンゴルの太鼓など珍しい楽器を見ること



ができました。

私は、国際交流協会が主催している英語語学講座の生徒や外国語指導助手のトッド・ベイマさんと一緒に、アメリカの「カントリーロード」という歌と、オーストラリアの「ホット・ポテト」という子ども向けの踊りを発表しました。

今回、有名な音楽家による伝統的な歌を聴くことができ、同じフェスティバルに参加できたことを光栄に思います。来年もさまざまな国の音楽を聴ける、素敵なフェスティバルになると思うので、ぜひ会場に足を運んでください。

オーストラリアのアルバイト、日本のアルバイト

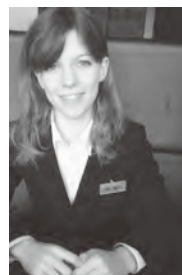
最近、ワーキングホリデーで海外からオーストラリアにやって来る人が増えているそうです。ワーキングホリデーとは、現地でアルバイトをしながら海外旅行を楽しむことです。私は、ワーキングホリデーや留学中にアルバイトをすることを強くお勧めします。その国の現地の人のがよく分かり、普段の旅行で触れることのない文化に触れることができます。日本でのアルバイトを通して辛い経験もたくさんしましたが、給料以上に貴重なことをたくさん得られたように感じます。例えば、一緒に頑張ったアルバイト先の人々とのつながりや自分に自信がついたことです。

アルバイトと言っても、日本とオーストラリアのアルバイトには違いがあります。オーストラリアでは、中学生のころからアルバイトをしている人が多く、日本よりも競争率が高いと思います。日本の求人広告では「だれでもできる簡単な仕事！」などとアルバイトを売っているような表現をされていて驚きました。それに対して、オーストラリアの広告には条件しか書かれていません。ウエートレスでも「2年以上の経験者で明るい性格の人のみお電話くださ

い」などと掲載されます。

オーストラリアは最低賃金が国際的に高い分、最低限の人数で仕事をする事が多くあります。一方で、接客の質を大事にする日本の店長は、スタッフができるだけ多くなるようにシフトを組んでいると感じました。その分、お客さんから質の高いサービスが求められています。例えば、お客さんの前でスタッフがおしゃべりしたり笑ったりすることはオーストラリアで特に問題になりませんが、日本ではクレームの原因となることもあります。

また、日本では「学生の仕事は勉強」という意識があり、アルバイトを休むことがオーストラリアよりも許されていますが、オーストラリアでは試験を理由に休むことはなかなかできません。



▲日本のホテルでアルバイトをしていたときのコール

皆さんも、次の海外旅行でアルバイトやボランティアなど新しいことに挑戦してみませんか。